



暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期となりました。体が暑さに慣れていない梅雨明けや急激に気温が上がった日は特に注意が必要です。またコロナウイルス対策のマスク着用で更に熱中症のリスクが上がってしまいます。喉がかわいていなくても水分をこまめに摂取するようにしましょう。最近は冷却タオルなどグッズがたくさんありますので活用してみたいかかでしょうか？

## 夏に多い感染症

### ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。



### 手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ぼうができて、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。

ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

### プール熱

プールで感染することもあり、高熱が3～5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。



### 流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。

## 緊急時のご連絡

### についてのお願い

やむを得ず保育中におきた病気やケガなどでご連絡する場合があります。0歳から6歳までの小さなお子様は急変することが少なくありません。緊急時に保護者の方と連絡が着かない事が無いように、毎日必ず連絡が着くような体制をとっていただけようお願いします。例えば、研修や外回りなど会社がない日は朝の受け入れ時に必ずお伝えください。

### お仕事がお休みの日のご連絡先

お仕事がお休みで用事があってお子様をお預けになる際は一番早くお迎えにいらっしゃる方のご連絡先をお伝えください。

## 感染症に罹ったら

夏もうがいや手洗いをしっかりしてコロナウイルスをはじめ他の感染症にも罹らないようにしましょう！！それでも罹ってしまったら、早めに受診をお願いします。そして無理をせず休養・栄養補給・保温をして1日も早く保育園に登園できるようにしましょう。

また、水いぼ（伝染性軟属腫）もウイルス感染症ですので早めの治療をおすすめします。

### 健康教育【手洗い指導】

先日、2～5歳児クラスを対象にブラックライトを使用した手洗い指導を実施いたしました。見えない汚れがライトで浮き上がるとみんな大興奮で一生懸命に何度も手をあらっていました。そして想像以上に手洗いの習慣や意識が身につけていて驚きました。